

学びの庭

文責 北 保志

平成二十八年一月号

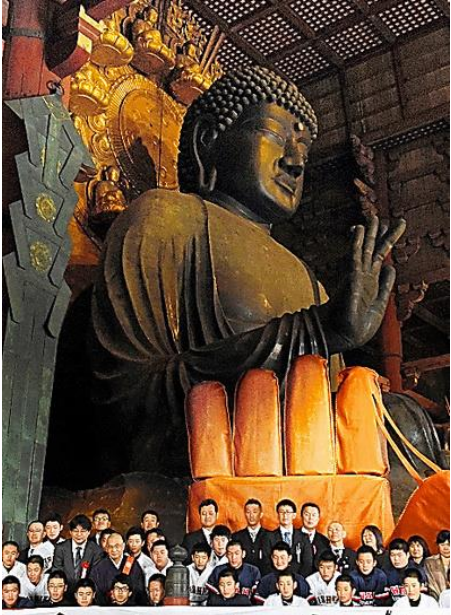


明けましておめでとうございます。今年も元旦から暖かい日が続く、穏やかな新春でした。皆さんとともに新春を迎えられたことを嬉しく思うとともに、今年一年、一人一人にとって良い年であることを願っています。

この年末年始は、「家族のために役に立つことができただけか?」「お世話になった人に感謝の気持ちを伝えることができましたか?」「特に三年生は、しっかりと勉強することができましたか?」今一度、この冬休みはどうであったか振り返ってください。

今日から始まる三学期は、一月、二月、三月の三月だけの短い学期です。よく「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と言われるように、この三ヶ月は、あつという間に過ぎていきます。一年生は、学年のまとめとして、二年生は中学校生活のまとめとして、一日一日を大切に、充実した学期にしてほしいと思います。そして、すべての者が、有終の美で締められるように共に頑張りましょう。

十二月二十九日の朝日新聞の天声人語に、次のような記事が載っていましたので紹介したいと思います。



大仏ぐらぶ

手のひらに復興を東大寺に大仏クラブ奉納

「東大寺のホームページより、東大寺の創建期の歴史には、聖武天皇が大仏を造るにあたり、広く国民に呼びかけた詔には、次のように書かれています。賛同してくれるなら、「二枝の草、一握りの土を持ちて、像を助け造らむと情（こころ）に願はば、恣（ほしいまま）に聴（ゆる）せ。」と、聖武天皇は、その呼びかけに応じて一緒に造りたい、手伝いたいという人々の小さい力と集め、大仏様を造ろうとしたのです。このように、普通の人々の協力とつながりで大きな事業が成し遂げられました。

聖武天皇の考えと自分達の志が一致したと、大和郡山市でクラブ工房を営む海原伸宏さんが、十二月二十六日、大仏の右手に合わせた高さ三六メートルの巨大なクラブを東大寺に奉納しました。

東日本大震災後、用具を失った被災地の球児に、クラブやボールを届ける活動を続けられています。また、同時に中古クラブなどの寄付を募ってきました。

昨年、被災地の中学校の先生からある相談を受けました。「まだ、仮設住宅から通学する生徒も多いのに、震災の記憶が風化しつつある。何かできないか!というところで「大仏クラブ」プロジェクトをスタートしました。

材料の牛革を野球少年らが一针一针縫っていきます。参加者は二〇〇人以上で「二枝の草・一握りの土」の現代版のプロジェクトです。クラブは一月九日まで大仏殿に置かれ、三月十一日からは福島いわき市で展示されるそうです。

このように、一人一人の力は小さいが、同じ思いで力を合わせると大きなことが達成できるし、大きな夢をつかむことができると思います。みんなの力で作り上げた壁面のように、この富雄中学校をより素晴らしいものにしていきましょう。

みなさん、今年一年、充実した年にしましょう!
■もう少し、「東大寺大仏に込められた願い」について紹介します。



東大寺の大仏は、聖武天皇が七五二年に造りました。日本で一番有名な仏像といってもいいでしょう。しかし、大仏が造られた理由は意外に知られていません。聖武天皇が大仏建立に込めた願いは、「盧舍那大仏造立の詔」に書かれています。

「動植物ごとくさかえんことを欲す」という願いを込めて大仏を造ったのです。

続いて詔には、「其れ、天下の富を有つは朕なり。天下の勢いを有つは朕なり。その富と勢いとを以て、この尊き造を造らむ。事成り易くし、心至り難し。」とあり、聖武天皇は、自分の富や権力で大仏を造るのはたやすいが、それでは大仏に心がこもらないだけでなく、人々の心が離れてしまうと考えていたことがわかります。

この詔が出された後、橋を造ったり、治水工事を行ったりして民衆に慕われた行基（近鉄奈良駅に像があります）も協力し、大仏造りに参加しました。こうして七五二年に大仏は完成し、四月九日に開眼供養が行われました。

その後、大仏は平安時代と戦国時代と二回の兵火によって焼かれてしまいましたが、その都度、全国の人々の小さな寄付と「すべての動物、すべての植物が栄える世の中にしたい。」という願いを集め復興され、今日に至っています。（詳しくは、副読本「奈良大好き世界遺産学習」を）

年末に、校内の木々の剪定

地域防災活動の一環として、かまどベンチを自転車置き場横に設置することとなり、その準備として十二月二十四日に、三確協議会（小林会長や大西さん）や大野石材、地域コーディネーターの方々の協力の下、立木を体育館横の花壇に移植し、スペースを確保する作業をして頂きました。当日は、大きな石の撤去や立木の移動には重機を使用するなど、大変がかりなものとなりました。

午後からは電話線などに振れるほど大きくなったメタセコイヤの上部を伐採して頂きました。大西さんにはチェーンソーを、その他は大野石材の方々に作業して頂きました。切った木はベンチに活用できればと思います。朝からの大変な作業に関わって頂いた皆様方は富雄中学校の卒業生と伺いました。学校のためにお忙しい中ご協力頂き、本当にありがとうございます。（詳しい作業の様子は本校HPを）



富より団子、給食に

一月八日、三学期最初の給食に「富より団子」ができました。市内で中学校給食を実施している学校に約四五〇〇食提供されました。実施に当たりボランティア部が、ポスターとアンケートを作成し、これを機会に「富より団子」の次のステップにしていきたいと考えています。

当日は、仲川奈良市長・中室教育長が三年生と一緒に給食を食べてもらいました。

また、当日は三年生最後の学力診断テストを実施しました。市長からは、入試に向けて激励の言葉をいただきました。

お知らせ

■一月十五日午後、奈良市中学校合同音楽会に、二年生全員が参加
■一月十九日、小中交流会で校区小学校六年生が本校に
■一月二十二日、一・二年生授業参観・保護者集会を実施します。参加方よろしくお祈りします。

